

平成23年度一般会計補正予算説明資料

8 款 土木費

2 項 道路橋りょう費

2 目 道路橋りょう維持費

道路企画課（内線：7356）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
(新) 地域自主戦略 交付金（雪寒） 〔一般公共事業〕	0	233,500	233,500	172,323	<43,000> 55,000		6,177	県負担額 49,177
トータルコスト	0	244,683	244,683	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	1.4人	1.4人	設計積算、工事監督				
工程表の政策目標 (指標)	安全安心で快適な道路環境の提供							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

「積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法」に基づき路線指定された県管理道路（雪寒指定道路）において冬期の円滑な道路交通を確保するため、雪崩予防柵、消雪パイプ、無散水融雪装置等を整備する。

また、冬期の道路状況をリアルタイムで把握し、適切な除雪体制を確保して円滑な道路交通を確保するため、情報機器（自動積雪観測システム、ライブカメラ）を整備する。

2 主な事業内容

○ 国道180号（無散水融雪装置）

箇所	延長	事業年度	6月補正予算
日野郡日野町門谷	296m	平成23～26年度	20百万円

・事業効果：冬期事故多発区間の解消

○ 主要地方道倉吉江府溝口線（雪崩予防柵）

箇所	延長	事業年度	6月補正予算
日野郡江府町御机	100m	平成23～24年度	5百万円

・事業効果：冬期の安全安心な道路交通の確保

○ ライブカメラ設置

箇所	設置数	事業年度	6月補正予算
鳥取県内	25箇所	平成23年度	12.5百万円

・事業効果：適切な除雪体制の構築、冬期の安全安心な道路交通の確保

3 これまでの取組状況、改善点

○ 国道180号（日野町門谷）：無散水融雪装置

- ・明地峠部の事故が多発する危険箇所4箇所について、平成17年度までに無散水融雪装置を設置済み。
- ・当該箇所が当該路線における県内最後の未対策の危険箇所である。

○ 主要地方道倉吉江府溝口線（江府町御机）：雪崩予防柵

- ・平成22年度の豪雪時に雪崩の恐れがあるため約2ヶ月間の全面通行止めを実施した。
- ・当該箇所は、奥大山スキー場への唯一のアクセス道路である。

○ ライブカメラの設置

- ・道路の積雪状況や渋滞状況をリアルタイムに把握し、適切な除雪体制を確保する必要がある。
- ・平成22年度の豪雪時に迂回路の現地の状況の把握に時間がかかり、迅速な対応に支障が生じた。
- ・幹線道路が通行止めとなった場合の迂回路設定時の状況把握等に活用する。

(注)起債欄の上段<>書きは、交付税措置額を除いた金額である。

県費負担額は起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算した額である。